

営農ウィークリーNEWS

JA 京都中央営農者会 第7回通常総会&第2回農産物品評会表彰式 開催!



知事賞を受賞された、
林俊孝さん(淀支店)



普及センター 安川所長



JA 京都中央会 田井部長

- | | |
|--|--|
| 一列目左から、
JA 京都中央会 田井部長
橋本健太郎さん(洛南)
岡本和也さん(淀)
林俊孝さん(淀)
普及センター 安川所長
田村組合長 | 二列目左から
小野洋史会長
中井崇さん(向島)
堀内真治さん(市原野)
大根田篤士さん(大原野)
高橋靖和さん(乙訓)
岩本常務 |
|--|--|

4月4日(火)、第7回 JA 京都中央営農者会 通常総会および第2回農産物品評会表彰式が、しょうざんリゾート京都にて、開催されました。

通常総会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、書面議決による開催となっておりましたが、3年ぶりに実開催となりました。

品評会表彰式は、昨年11月29日(火)に開催され、会員から野菜・花卉合わせて148点の出品がありました。

表彰式では、品評会の審査長を務めた京都乙訓農業改良普及センターの安川博之所長より審査の講評が報告されました。また、安川所長ならび田村組合長等から、特別賞受賞者に表彰状が授与されました。

受賞された皆さま、まことにおめでとうございます!

営農者会は、2016年11月に農業者の経営確立や発展のため経営に係る支援、JA との連携強化、行政等に対する要請・提言、会員相互の交流等の活動をするとともに地域農業の維持・発展に寄与することを目的として発足しました。

発足6年を迎え、コロナ禍により各種事業を制限しながら運営を行ってまいりましたが、農業の活性化や都市農業の魅力を発信するため、今後も活動を行ってまいります。

TAC information

京都市管内が対象



京都市環境保全型農業資材等導入拡大事業補助金の募集が開始されました!

環境保全型農業の普及拡大を目的に、環境にやさしい農業資材・技術の導入や利用拡大に係る取組を支援する「環境保全型農業資材等導入拡大事業補助金」の募集が開始されました。詳しくは裏面をご覧ください!



京都市環境保全型農業資材等導入拡大事業補助金の募集開始について ～環境にやさしい農業資材・技術の導入を支援します～

近年、地球温暖化や激甚化する自然災害等の環境課題が深刻となる中、京都市では「2050年二酸化炭素排出量正味ゼロ」の達成に向け、減農薬栽培などの環境負荷の軽減に配慮した「環境保全型農業」を推進しています。

今後、より一層「環境保全型農業」を普及拡大するために、環境にやさしい農業資材・技術の導入や利用拡大に係る取組を支援する「環境保全型農業資材等導入拡大事業補助金」について、令和5年度の補助対象者を募集しますのでお知らせします。

1 事業概要

(1) 申請受付期間

令和5年4月6日（木）～12月28日（木）

※ 申請受付期間締切日の当日消印有効

※ **申請受付期間中においても、補助申請の総額が予算の上限に達した場合は、受付を終了します。**

(2) 補助対象者

ア 農産物を販売する農業者（個人・法人）

※ 個人にあつては市内在住、法人にあつては市内に事業所等を有していること

イ 農業者等で組織された団体

※ 市内に事業所等を有していること

(3) 補助対象経費

以下に掲げる環境にやさしい農業資材・技術の導入に係る経費

ア 化学合成農薬削減に資する資材・技術

（例）太陽熱土壌消毒用マルチ、UV-B電球形蛍光灯、農業用LED光式捕虫器、フェロモン剤、生物農薬、粘着捕虫シート、有機JAS適合農薬等

イ 廃プラスチック削減に資する資材・技術

（例）生分解性マルチ、生分解性ポット等

ウ その他市長が特に必要と認めるもの

補助対象経費は、「新たに導入する資材・技術」又は「前年度に比べて取組拡大する資材・技術の導入」に係る経費に限ります。また、備品^{*}は対象外です。

※ 原形のまま比較的長期（おおむね1年以上）の反復使用に耐え、かつ取得単価（税込）が50,000円以上の物品

(4) 補助率

消費税を抜いた経費の1/2以内

(5) 補助上限

個人10万円 法人・団体50万円



光を用いた病害虫防除



生分解性マルチ

京都市内在住の方は、
是非、この事業を有効にご活用ください！